

自ら成長する教養人の育成 支援プログラム



アナログ・デジタル両手法を活用した成長
度に応じた能動的 キャリアアップ・人間力
涵養システムへの変革

千歳科学技術大学 学生総合センター
角田 敦



千歳科学技術大学

2009.3.13 学生支援GP意見交換会

プログラム提案の背景



- 社会の要請及び学生の指向は毎年多様化が進み、社会ニーズや学生ニーズに従来以上のきめ細かな対応が必要。
- 理解力並びに言語表現力の衰退。
- 「受身の参加」から、「能動的な参加」を主体にしたシステムへの変革を図る。
- ICT教育, キャリアアップ支援活動の展開
- 開学10周年を踏まえた新たな取組

Best Care, Best Success



千歳科学技術大学

2009.3.13 学生支援GP意見交換会

プログラムの内容

「自ら行動し、成長する」支援へ

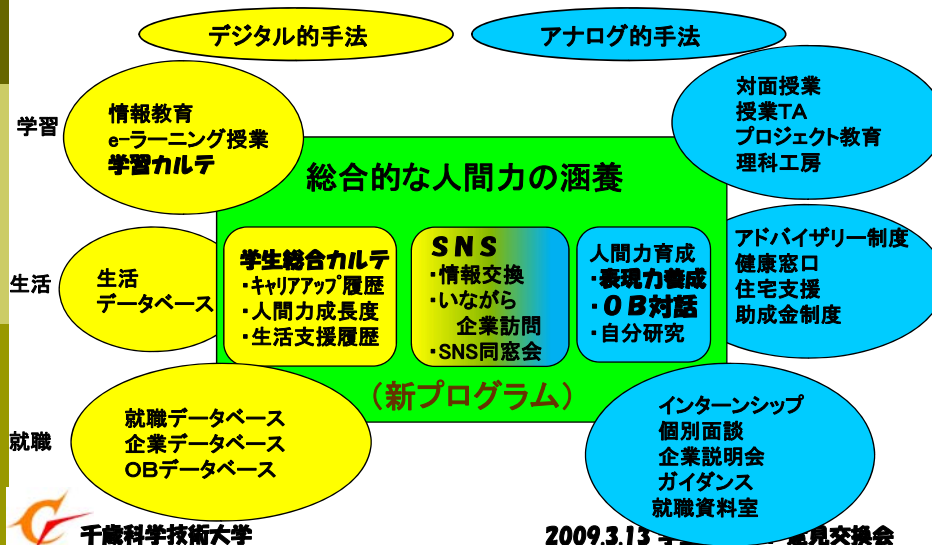
- **社会人基礎力**（前に踏み出す、考え抜く、チームで働く力）と理工系学生としての**質を保証**する総合的な**人間力**涵養のプログラム
- 対面指導、人と人の交流を主とする
アナログ的手法と、各種データベースなどデジタルツールを用いた**デジタル的手法**を有機的に組み合わせた学生支援プログラム
- 2008年度採択（4年計画）



千歳科学技術大学

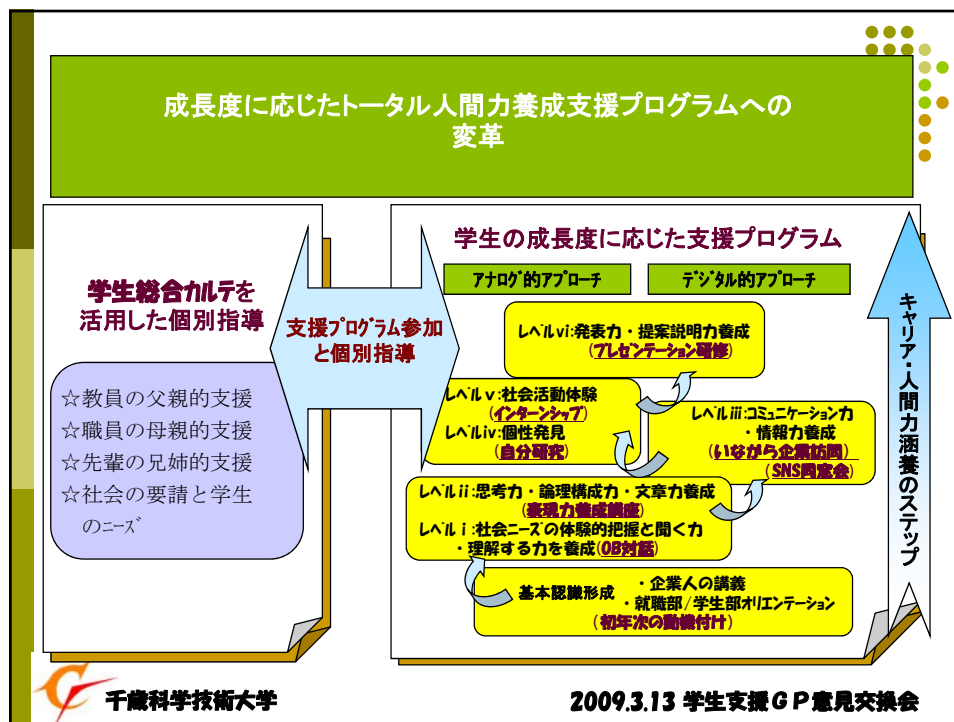
2009.3.13 学生支援GP意見交換会

アナログ・デジタル両手法の活用



千歳科学技術大学

2009.3.13 学生支援GP意見交換会

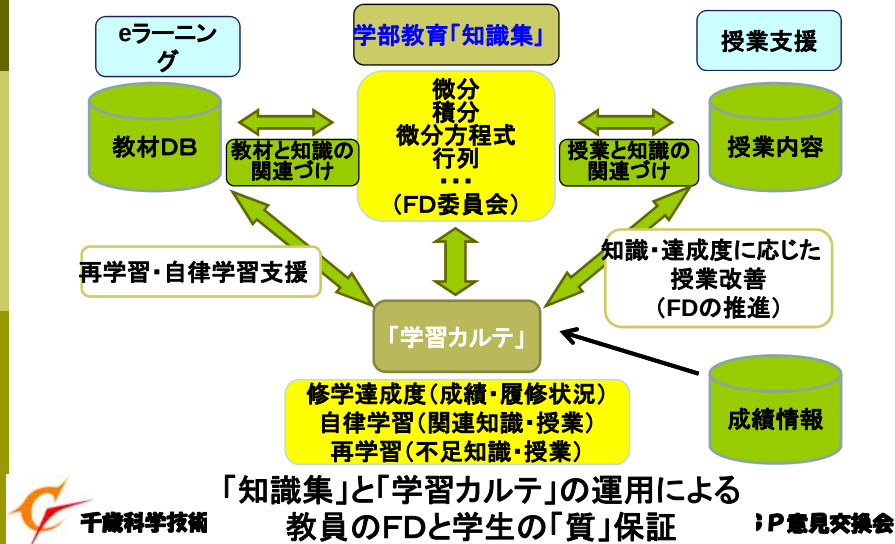


学生総合カルテ

- 学生個人の学習カルテに、レベルごとのプログラムにおける取組状況を加えた「学生総合カルテ」を作成し、厳重な管理のもと個別指導の原点とする。学生個別の成長度を適確に把握し、学生の自覚を促す指導に活用するとともに、支援に対するニーズも汲み上げる。
- 教員との対話から将来の専門に向けたアドバイスを受け問題解決の方向性をもらうと共に、職員との対話から日常的な活動に関する支援を受け問題に「あきらめず」に取り組むことができる。

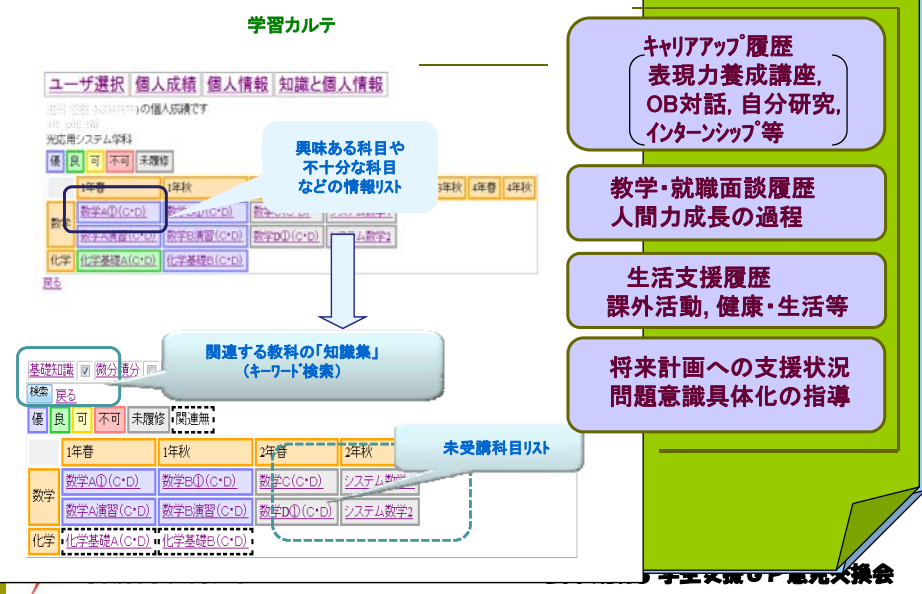
学習カルテ(学習面・教員FD)

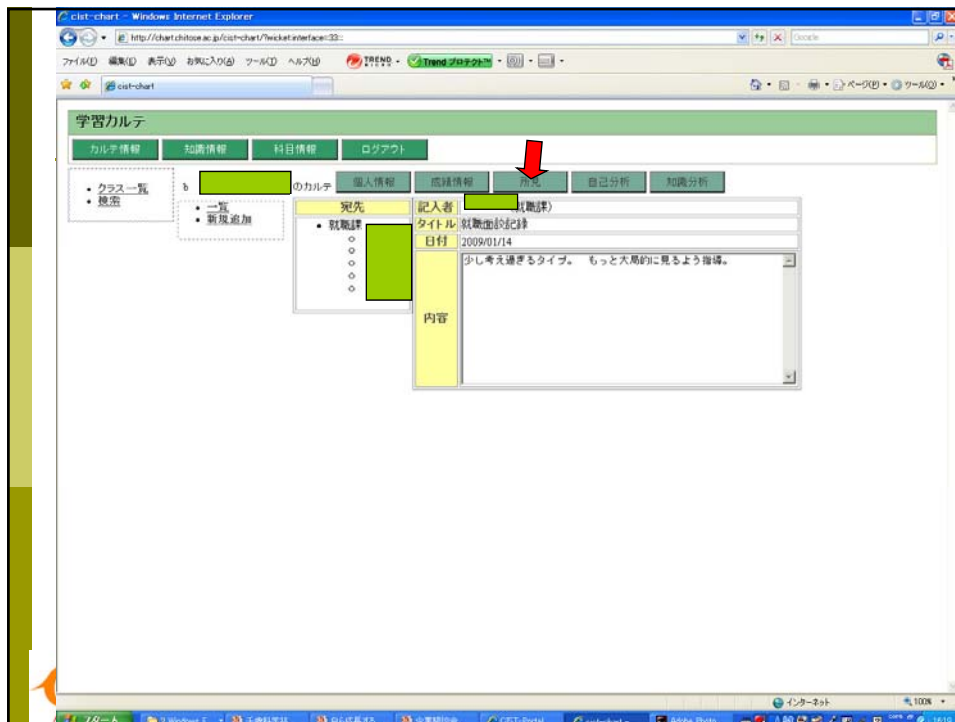
現代GPの成果を活用

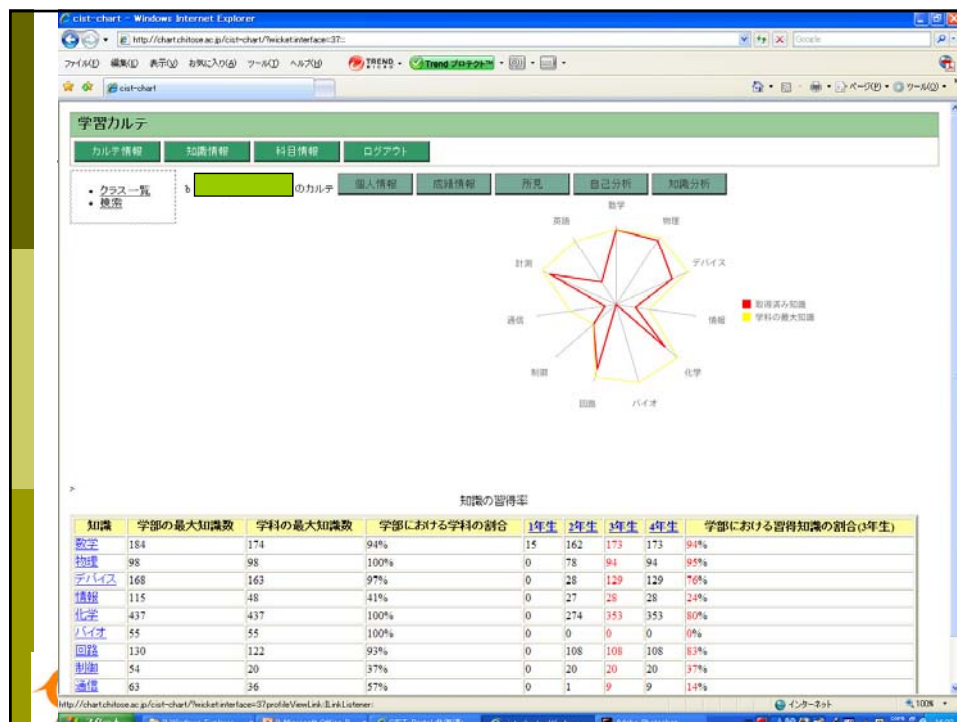


学習カルテから学生総合カルテへ

修学履歴・学習到達度とキャリアアップ履歴・人間力成長度を記録し、個別指導の核とする



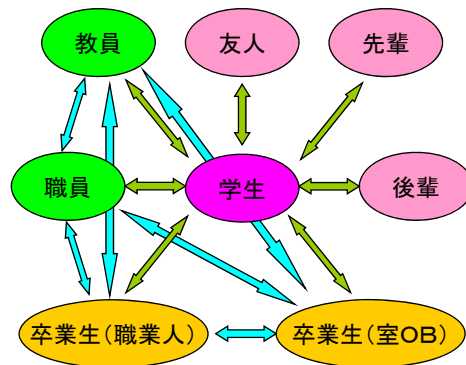




SNS情報共有システム

- SNS上に自らが情報発信源として参加し、人的ネットワークを展開する。各種コミュニティを設定して、各々の情報交換の場を提供するのみならず、「**SNS同窓会**」も実現を図る。在学生の情報交換を活性化すると同時に、卒業生と在校生との間にもチャンネルを開くことで、卒業生を通じて居ながらにして社会的ニーズを直接的に把握できる「**いながら企業訪問**」を実現する。

SNSシステムの内容



搭載予定の主なコミュニティ

★原則、実名を明かしたうえでの参加を想定★

●就職相談コミュニティ

- ・学生と研究室教員、就職課職員 ・学生と卒業生
- ・学生と内定を獲得した4年生
→学生が学生を支援することで、双方の学生に有益である。QWをツールとして活用し、就職資料室に内定学生を常駐させ、対面でのサポートも実施可能

●いながら企業訪問コミュニティ

- ・特定の企業に関する情報交換(学生と卒業生)
- ・特定の業種、職種に関する情報交換(学生と卒業生)
- ・本学教職員による経験談等の情報発信(学生と多様な経歴を持つ本学教職員)

●SNS同窓会

- ・約1500名の同窓生のための交流の場。卒業後も大学との繋がりを継続

2007.3.15 アニメーション制作発表会



表現力養成講座



文章力の基礎を**対面形式で連続講義**を行い、この結果を踏まえて、携帯電話やメールから隔離した環境下の合宿形式の「**表現力養成合宿**」を実施し、文章を読んで理解力・思考力・書く力の育成を図る。

- 文章力養成連続講座
連続10回(文章の基本)
- 表現力養成合宿(読書)
2泊3日 滝野青年山の家(札幌)



千葉科学技術大学

2009.3.13 学生支援GP意見交換会

文章力養成連続講座



- 期間:11月～2月 合計10回(夜間)
外部講師:田代早矢人先生(北星学園大)
受講生:16名(主に2年生)
- ①, ② 文章表現の基本
 - ③ 文章作成1
 - ④ 構成とアウトライン
 - ⑤ 事実および意見の記述, 出典の書き方
 - ⑥ 要約
 - ⑦ ディベート演習
 - ⑧ 文章作成2
 - ⑨ 手紙の書き方と記述
 - ⑩ まとめ





表現力養成合宿(2泊3日)

合宿講座プログラム

- 日時: 2月25日(水)～27日(金)
- 場所: 滝野青年山の家(札幌)
- 受講生: 23名 (1～4年生)
- 教員5名(外部講師1名), 職員3名

- 1日目: ガイダンス, 読書
- 2日目: 読書, グループ内討論, 発表準備
- 3日目: グループ毎に発表

表現力養成講座(合宿)推薦図書

①	いつまでもデブと思うなよ	岡田斗司夫	新潮新書
②	外国語学習の科学	白井 恭弘	岩波新書
③	格差社会 何が問題なのか	橋本 俊昭	岩波新書
④	ケータイを持ったサル	正高信男	中公新書
⑤	コンピュータを「着る」時代	板生清	文春新書447
⑥	数学でわかる社会のウソ	芳沢光雄	角川Oneテーマ22
⑦	生物と無生物のあいだ	福岡 伸一	講談社現代新書
⑧	大学で何を学ぶか	浅羽 通明	幻冬舎文庫
⑨	騙されやすい日本人	宮脇磊介	新潮文庫
⑩	中国は敵か、味方か	莫 邦富	角川Oneテーマ22
⑪	日本人のしつけは衰退したか	広田 照幸	講談社現代新書
⑫	脳とコンピュータはどう違うか	茂木健一郎、田谷文彦	講談社ブルーバックス
⑬	バカになるほど成功する	関口房朗	宝島文庫
⑭	文明の衝突と22世紀の日本	サミュエル・ハンチントン	集英社新書
⑮	ルポ 貧困大国アメリカ	堤 未果	岩波新書
⑯	霊はあるか	安斉育郎	講談社ブルーバックス

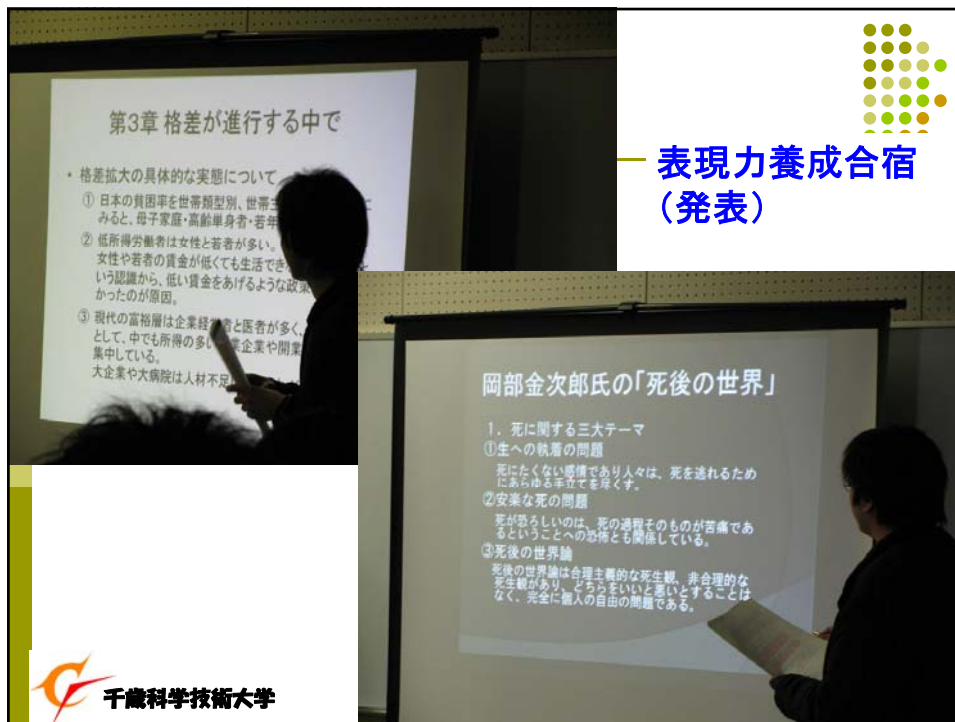
千歳科学技術大学

2009.3.13 学生支援GP意見交換会



表現力養成合宿
(読書研修)

千歳科学技術大学



OB対話

本学OBとの対話から、**社会活動の実態や社会が大學生に望むニーズ**を、実例を踏まえて具体的に理解する

- 広い分野から多くのOBを招待
2009.2.5開催
OB数は13名(ハード, ソフト, サービスの分野)
- 少人数の対話形式で、突っ込んだ対話を実現
参加者約100名(5~10名のグループ)

千歳科学技術大学

2009.3.13 学生支援GP意見交換会



OB対話
(個別OB対話)



本年度の総括

- 学生総合カルテのシステム構築と試行
仕様(部分)と開示範囲の決定
- SUS情報共有システムの構築
仮仕様の設定
- 表現力養成講座の実施
文章力連続講座と表現力養成合宿
- OB対話の実施
およびインターンシップ、プレゼンテーション研修

次年度の計画



- 学生総合カルテの仕様拡大
「自己発見テスト」、「適職診断テスト」などの搭載
- SNSシステム試行開始
いながら企業訪問、SNS同窓会の搭載
- 学生キャリアアドバイザーの試行
- 文章表現力を養成する連続講座を継続
- プレゼンテーション研修・合宿講座を継続・拡充
- 低学年インターンシップへの試行
- OB対話を継続



千歳科学技術大学

2009.3.13 学生支援GP意見交換会